



新機能および変更された機能

この章の内容は、次のとおりです。

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、現行リリースに至るまでにガイドの章に加えられた主な変更点の概要を示しています。ただし、今リリースまでのトピックへの変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: Cisco APIC 3.2(1x) の新機能および変更点に関する情報

機能	説明	参照先
N9K-C93180YC-FX スイッチでプロファイリングされ QSFP ポートで拡張ブレイクアウトサポート	100 ギガビット (Gb) (4X25Gb) のサポートが追加し、(ACI モード) ではスイッチのダイナミックブレイクアウト N9K-C93180YC FX でプロファイリングされ QSFP ポートで 40 Gb (4X10Gb)。	ダイナミックブレイクアウトポート
N9K-C93180YC-FX スイッチで拡張ポートプロファイルのサポート	サポートが追加された N9K-C93180YC-FX スイッチポートをアップリンクからダウンリンクまたはアップリンクをダウンリンクに変更するポートプロファイルの。	ダウンリンクまたはアップリンクをダウンリンクへのアップリンクポートの変更をポートプロファイルの設定
ファイバチャネル NPV	ファブリック over FC トラフィックのサポート	ファイバチャネル接続

機能	説明	参照先
ポート構成の複製	ポート設定を複製のサポートが追加されました。リーフスイッチポートを設定すると、設定をコピーし、他のポートに適用できます。	アクセス インターフェイス
カプセル化の拡張機能でフラッドします。	プロトコルのサポートに関する情報を追加、 カプセル化でフラッドブリッジドメイン または Epg のオプション。	ブリッジング

表 2: 新機能および変更された Cisco APIC 3.1(2m) について

機能	説明	参照先
N9K-C9336C-FX2 スイッチでプロファイリングされ QSFP ポートで拡張ブレイクアウトサポート	100 Gb (4X25Gb) のサポートが追加し、N9K C9336C FX2 でプロファイリングされ QSFP ポートで 40Gb(4X10Gb) ダイナミックブレイクが (ACI モード) でスイッチします。	ダイナミック ブレイクアウト ポート

表 3: 新機能および変更された Cisco APIC 3.1 (1) について

機能または変更	説明	参照先
ブリッジドメインごとの IP 学習の無効化	2 つのホストが Cisco ACI スイッチにアクティブおよびスタンバイのホストとして接続されている場合、ブリッジドメインごとの IP 学習は無効になります。MAC 学習は引き続きハードウェアで発生しますが、IP 学習は ARP/GARP/ND プロセスからのみ発生します。この拡張は、柔軟な導入は、たとえば、ファイアウォールまたはローカル ゲートウェイできます。	ブリッジドメインオプション

機能または変更	説明	参照先
MACsec	MACsec は、暗号化キーにアウトオブバンド方式を使用して、有線ネットワーク上で MAC レイヤの暗号化を提供します。MACsec Key Agreement (MKA) プロトコルでは、必要なセッション キーを提供し、必要な暗号化キーを管理します。	MACsec
カプセル化でフラッド	Cisco ACI スイッチの次世代 Asic 以降と Cisco ACI リリース 3.1 (1) 以降では、すべてのプロトコルはカプセル化にフラッディングされます。複数の Epg が外部のスイッチでサポートされている 1 つのブリッジドメインします。2 個の EPG が同じ BD を共有し、カプセル化のフラッディングオプションがオンになっている場合、EPG フラッディングトラフィックは他の EPG に達しません。Virtual Connect (VC) トンネルネットワークを Cisco ACI スイッチを使用する課題を克服します。	カプセル化でフラッド

機能または変更	説明	参照先
基本的な GUI トピックが削除されます。	GUI の基本的な手順はサポートされなくなりました	次のトピックが削除されました。 <ul style="list-style-type: none"> • 基本 GUI を使用したテナント、VRF、およびブリッジドメインの作成 • 基本 GUI を使用した適用済みブリッジドメインの構成 • 基本 GUI を使用したFCoE vFC ポートの展開 • APIC 基本 GUI を使用した VSAN ドメインの作成 • トンネルインターフェイス 802.1q の設定、基本的な GUI を使用して • 基本的な GUI を使用したダイナミックブレイクアウト ポートの設定
N9K-C93180LC-EX スイッチ上で 100 Gb (4X25Gb) ポートのブレイクアウト サポート	N9K C93180LC EX のブレイクアウトが (ACI モード) ではスイッチのダイナミック 100 Gb (4X25Gb) のサポートが追加されます。	ダイナミック ブレイクアウト ポート

表 4: Cisco APIC 3.0(x) の新機能および変更点に関する情報

機能または変更	説明	参照先
Epg の Q-で-Q カプセル化のマッピング	このリリースでは、通常のインターフェイス、または、PC または VPC での VLAN トラフィック ingress の二重に付き、EPG にマッピングできます。	Epg の Q-で-Q カプセル化のマッピング

機能または変更	説明	参照先
ブリッジドメインの適用	サブジェクトエンドポイントグループ (EPG) で、エンドポイントに ping できるの関連付けられているブリッジドメイン内のサブネット ゲートウェイのみ enforced ブリッジドメインをサポートします。 この設定を有効にすると、そのサブネット ゲートウェイに ping を実行できる IP アドレスのグローバル例外リストを作成できます。	ブリッジドメインを適用 でブリッジング
ポートのアソシエーションを使用してリーフスイッチの設定	GUI の手順を使用して、ここで、ポートを選択し、ポリシーを適用できます。	ポートアソシエーションを使用してリーフスイッチ物理ポートを構成する

表 5: Cisco APIC 2.3(1e) リリースの新機能および変更点に関する情報

機能または変更	説明	参照先
802.1q の改善点をトンネル	使用するためのコアスイッチのポートを設定するようになりました Dot1q トンネル 複数のお客様にします。アクセス VLAN を定義して、 corePorts を消費する顧客を区別できます。MAC ラーニングを無効にすることもできます Dot1q トンネル 。	802.1q トンネリング
対称ハッシュ	ポートチャネルでは、対称ハッシュ化はサポートされています。	ポートチャネル

機能または変更	説明	参照先
リフレクティブ リレー (802.1Qbg)	リフレクティブ リレーは、外部ネットワーク スイッチへのホスト サーバから仮想マシンのスイッチングを転送します。同じ物理サーバ上の Vm と、ネットワークの残りの部分間の接続を提供します。これにより、同じサーバ上の Vm の間のトラフィックに適用する Cisco APIC で設定するポリシーができます。	アクセス インターフェイス
マルチキャスト/ユニキャスト 差別化トラフィック ストーム制御	トラフィックのタイプごとに ストーム制御を個別に設定できます。	トラフィック ストーム制御

表 6: Cisco APIC リリース 2.2(2e) の新機能および変更点に関する情報

機能または変更	説明	参照先
ドキュメントの再編成	このガイドのトピックの中から収集された Cisco APIC の基本的なコンフィギュレーション ガイド し、次の APIC 記事。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco ACI と 802.1 q トンネリング • ドメインを使用して特定のポートを Cisco APIC EPG の導入を添付エンティティ プロファイル、および Vlan • Cisco APIC とトラフィック ストーム制御 • Cisco APIC とダイナミック ブレイクアウトポート • Cisco APIC and Proxy ARP • Deploying an EPG on a Specific Port Using Cisco APIC 	Cisco APIC Layer 2 Configuration Guide

表 7: Cisco APIC 2.2(1n) リリースの新機能と変更された動作

機能	説明	参照先
FCoE over FEX	FCoE over FEX ポートを設定できるようになりました。	FCoE 接続
CDP FEX デバイスへのインターフェイスでのポリシーではサポート	このリリースでは、サポートはインターフェイスの CDP の FEX のデバイスに追加されました。	アクセス インターフェイス
802.1 q トンネリング	802.1 q をここで設定できる QoS (QoS) の優先順位の設定と、ファブリックにイーサネットフレームのトンネリングをポイントするマルチ ポイントの有効化するエッジポートでトンネル。	802.1 q トンネリング
ダイナミック ブレイクアウトポート	(4 X 10 ギガビット ブレイクアウト ケーブルを Cisco 40 ギガビットで接続されている) 4-10 ギガビット対応 (ダウンリンク) デバイスに接続するには、40 ギガビットイーサネット (GE) リーフ スイッチ ポートを有効にするのには、4-10 ギガビットポートには、(分割) ブレイクアウトを 40GE ポートを設定します。	ダイナミック ブレイクアウトポート。

表 8: Cisco APIC 2.1(x) リリースの新機能および変更点に関する情報

「CLI を使用したトラフィック ストーム制御ポリシーの設定」のトピックの改訂	トピックは、NX-OS スタイル CLI を使用する新しい」のトピックに置き換えられました。	参照してください NX-OS スタイル CLI を使用してトラフィック ストーム制御ポリシーの設定 で トラフィック ストーム制御。
---	--	--

表 9: Cisco APIC 2.0(2x) リリースの新機能および変更点に関する情報

機能または変更	説明	参照先
」のトピックをリビジョンの設定、トラフィックストーム制御ポリシーを使用して、高度な GUI。	高度な GUI リビジョンがへのナビゲーションパスに変更が、ストーム制御インターフェイスポリシー 作業ウィンドウ。	トラフィック ストーム制御
『Proxy ARP』	Cisco ACI のプロキシ ARP は、ネットワークまたはサブネット内のエンドポイントが、別のエンドポイントの MAC アドレスを知らなくても、そのエンドポイントと通信できるようにします。プロキシ ARP はトラフィックの宛先場所を知っており、代わりに、最終的な宛先として自身の MAC アドレスを提供します。	『Proxy ARP』

表 10: Cisco APIC Cisco APIC リリース 2.0(1m) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
Fibre Channel over Ethernet (FCoE) サポート	ACI ファブリックを介した FCoE 接続の実装に関する概要と設定のトピック。	FCoE 接続

表 11: Cisco APIC Cisco APIC リリース 1.3(1g) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
-	削除されたオブジェクトは、CLI の手順をモデル化し、NX OS スタイル CLI の手順に置き換えられます。	NX-OS の CLI を使用して EPG を特定のポートに導入するための AEP、ドメイン、および VLAN の作成 NX-OS スタイルの CLI を使用した、APIC を持つ特定のポートへの EPG の導入